

住宅ローンにおいて同性パートナーとの申し込みを可能に ～LGBTをはじめとする性的マイノリティの方が、 自分らしく安心して生きることのできる社会へ～

auじぶん銀行株式会社（本社:東京都中央区、代表取締役社長:臼井 朋貴、以下 auじぶん銀行）は、2021年4月23日から、住宅ローンにおいて同性パートナーを連帯保証人および担保提供者とした申し込みを可能にします。

auじぶん銀行は2020年9月にSDGs宣言を行い、ダイバーシティへの取り組みを推進する中で、多様性を尊重すべく、あらゆるお客さまにサービスをご利用いただける環境の実現に向けサービス拡充の検討を進めてきました。本対応は、法的な婚姻関係のないLGBTのカップルが共に居住する住宅の取得に際し、住宅ローンを共同でご利用いただくことを目的としたものです。

auじぶん銀行の住宅ローンでは、同一物件に対して一定の条件のもと、2人のお客さまがそれぞれ住宅ローンを組む「ペアローン」と、お申込者本人以外の収入を合算する「収入合算」でのお申し込みが利用いただけます。今回の対応により、同性パートナーとのペアローンのお申し込みや、同性パートナーの収入を合算してお申し込みが可能となります。「ペアローン」の場合は利用する2人のお客さまがそれぞれお互いの住宅ローンの連帯保証人となり、「収入合算」の場合は収入合算者が連帯保証人となります。

また、借入対象の土地・建物を同性パートナーと共有する場合も、同性パートナーを担保提供者としてお借り入れいただけます。

ご利用にあたっては、お客さま2人で作成いただいた公正証書の提出が必要となります。必要書類の詳細は、4月23日以降にauじぶん銀行のウェブサイトをご確認ください。

auじぶん銀行の住宅ローンは、2015年に邦銀初の「ネット完結」住宅ローンとして開始し、2020年9月18日には住宅ローン実行額が累計1兆円を突破しました。また、団体信用生命保険の保障内容の手厚さや、お申込みから契約までのすべての手続きをネットで完結できる利便性などから、ご契約いただいた約96%のお客さまにご満足いただいております(注1)、「住宅ローン人気ランキング」で2020年度下半期第1位を獲得(注2)するなど、多くのお客さまにご好評をいただいております。

さらに、2021年3月1日からは、au回線(注3)とセットで利用すると住宅ローンの適用金利が年0.07%(注4)引き下げとなる「住宅ローン au モバイル優遇割」(注5)を提供しております。くわえて、KDDI株式会社が提供する「じぶんでんき」をセットで利用することにより、「住宅ローン au 金利優遇割」(注6)として住宅ローンの適用金利が最大年0.1%(注4)引き下げとなります。

auじぶん銀行は、今後もお客さまの声にお応えするために、より一層のサービス拡充を推進していきます。

au フィナンシャルグループの au じぶん銀行は、『じぶんのいる場所が、行く場所が、ぜんぶ銀行になる。そういうスマホの自由さ、便利さを銀行にも。』という思いを込めて「銀行を連れて、生きていこう。」というブランドメッセージを掲げるとともに、社会の持続的な成長に貢献する会社を目指し、社会貢献活動にも取り組んでいきます。

以上

(注1) 2020年1月～2020年12月に、au じぶん銀行の住宅ローンをご契約いただいたお客さまを対象としたアンケートより。(集計期間：2020年9月10日～2020年12月31日)

(注2) 価格.com 住宅ローンカテゴリ人気ランキング新規借入れ(固定金利)、借り換え(固定金利)で1位。(集計期間：2020年7月1日～2020年12月31日)

(注3) au 回線のサービス提供者は KDDI 株式会社および沖縄セルラー電話株式会社です。

(注4) 2021年4月現在。

(注5) KDDI 株式会社および沖縄セルラー電話株式会社が提供する新料金ブランド「povo」は「家族割プラス」カウント対象外となります。なお、2021年夏までに「povo」をご契約いただいたお客さまは、早期申込特典として「家族割プラス」のカウント対象となりますが、提供条件改定などにより「家族割プラス」のカウント対象外となった povo 契約に変更された場合には、au モバイル優遇割は適用対象外となりますのでご注意ください。「家族割プラス」の対象となるかの判断については、KDDI 株式会社へご確認ください。

(注6) 「au モバイル優遇割」と「じぶんでんき優遇割」をセットでご利用いただいた場合の総称です。「じぶんでんき優遇割」は、住宅ローンと KDDI 株式会社が提供する「じぶんでんき」をセットでご契約いただくと住宅ローンの適用金利を年 0.03%引き下げます。

